地方に於ける戦斗的労働者を以て組織する我が自由労働自治会は今回の諸君の斗争を全幅的に支持し諸君の最後の勝利を得る日まで徹底的に応援するものであることを並に堅く誓ふものである、

△電気局の大弾圧を團結の偉力でブッ飛ばせ

△市電一万五千従業員の總罷業万才

△全交通産業のゼネスト万才

一九三〇、四、一八、

（別記二十四）

市当局は今の争議に對し東京交通労働組合を破壊せんとする目的を以て徒らに高圧を加へてあるは実に遺憾にして右は甚だ奇怪なる陰謀である理事者は深く之を慎むべきである

右決議す

昭和五年四月二十日

日本大衆党東京府支部聯合会

（別記七）

四月十九日　争議日報　第五報

市電 東電 争議日報 第五号

日本労働組合全国協議会 日本電気労働組合 東京支部 日暮里谷中一〇七二

兄弟死ぬ迄やろうぜ!!

ツルハシ、スコップ、ナイフ、ヂスコン棒を手から放すな!!

こうなったら俺達はもう死ぬ迄やるばかりだ、サーベルも来い、憲兵も来い、在郷軍人・青年団もたばになって来やがれ、俺達のツルハシもおとなしく引込がやえねいぞ、手前達のサーベルやピストルと俺達のツルハシとどっちが丈夫かトコトン迄やって見様ぢゃないか、

吾方の兄弟用意はいゝか!!

ツルハシ、スコップ、ナイフ、ペンチ、大ハンマ、ハンマ、パンコ、ヂスコン棒、は何時でも手に持って、来い!!

奴等が出たらバッて来たりそれでブチ殺して仕舞んだ、!

ダラ幹や裏切者もそれで半殺にするんだぞ

こうなったらお互に死ぬ迄やろう!!

兄弟よ、ツルハシ、カナテコを手から放すな!!

十九日早朝のビラ撒き 東京支部の行動隊大組の大活躍

竹丸の畜生が協同会と交通のダラ幹

ハッタリをちらつかせ作り、労台のオドカシをやってゐる市電、日本電気東京支部はストライキ委員会を開き、委員会は直に「断然ストライキだ!!」と云ふビラ数千枚を夜通で刷上げ、十組の行動隊を編成して十九日早朝小石川、赤坂、青山、広尾の各建設を始め営繕、電力の各職場に撒いて断然ストライキに移れと訴た、

ビラは各職場でカンコの声で迎へられ「俺達は職場を固めるから行動隊の方はしっかり頼むぞ」と云ってくれたので行動隊の勇気は百倍した、

益し職場大会を開け（青山、小石川）

小石川、青山、赤坂、広尾、本局の各建設を始め営繕、電力の各職場では職場大会を開いて結束を固めて居る、少くとも一日に三度は一二と職場大会を開け、そして

一、争議委員会の徹底的実行、

二、ダラ幹裏切者を叩きのめせ、

三、ツルハシ、スコップで資本家官犬をブチ殺せ、

以上を決議しようぢゃないか、何でもかんでも職場大会を持ってそこで決めるんだ!!

意気上る各班の職場代表 十八日夜の協同会

大中火委員会 会林

十八日午前十時カケへの畜生等が「ストライキをやるのか、やらないのか、やらないのか、やるならやって見ろ、やらないとオトウの仕事をしろ」と云って来やがった奴に対して、市電協同会が協同会本部に集まって対策を協議したが、十四日の執行委員会は一体何だ、いからこのまゝ泣き寝入りになるより外はあるまいときめたにも拘らず各班代表者の意気込は物すごく断じて俺達は屈服することは出来ないことであめ〱泣寝入したなったり、今や組合はブッツブされる、そしてやがて俺達の兄弟は大量的に馘首されるんだ、だから俺達は断然立上り徹底的にストライキをやらなくちゃとても俺達の首や生活を守ることは出来ないね、局長の野郎の云ふ事にゃ、だいゝち「俺達は不承知だと云ふぢやないか、そして俺達は死んでも戦ふんぢゃねえか」と云ふ事を固く〱誓合った、

三月の数たちの芥川一派のダラ幹は最初は一人二人は叛論を唱へまあまあと云ってたが一旦大衆に追随することとなり「私も首をかけてやります」とごまかさるを得なくなった、だからダラ幹にだまされたら大変だ、芥川一派に気を付けろ、いつストライキを売られるかわからないぞ!!、